



ふれあい



No.151

慣れと油断が命取り 初心に戻ってゼロ災害



自主

自立

公益社団法人

共働

共助

アレンジフラワー
講習会作品

伊達市シルバー人材センター

伊達市山下町146-8 TEL23-6448・FAX25-6960

大滝地区連絡所

伊達市大滝区本郷町84-1(大滝基幹集落センター) TEL68-6771・FAX68-6761



シルバーのお仕事紹介

就業場所は昭和新山の
駐車場です。駐車場入り口付近は一般車両、
奥の方は観光バスの駐車場となっています。
業務内容は、駐車場への案内、料金の徴収
です。



街頭啓発活動

令和5年6月15日、参加者24名
により街頭啓発を実施しました。



剪定講習会について

令和5年9月7日(木)、剪定講習会
を実施しました。



午前：座学(シルバー2階研修室)



午後：実技(道営住宅周辺)

会員のひろば

シルバーと趣味と『じぶん』

第4地区 小川市 雄

シルバー人材センターに会員として加入させていただいて今年で6年目。

現職時代には集中出来なかった趣味も、余裕の出来た「前期高齢者」となって片時の仕事と合わせ、充実するようになった。とは言っても、自己流の趣味ではなかなか上手になれず苦心はしている。

1. 趣味の生き甲斐

20年程前と変わらぬ「盆栽」愛と「熱帯魚鑑賞」、2年程前に覚えたのが「切り絵」。孫の夏休みの課題研究を手伝った為興味を持った「日本史」。

こんなに面白いんだから長生きしなければもったいないよね。そしたら今度は健康に気を付けるようになり、慣れないスマホで『健康法』なるものを調べ始めた。覚えて来た来た…来た！が、しかし、物忘れも激しくなり頭の中の容量が少なくなって来たのも合わせ、昔の事は残っているが、途中から覚えたものが頭の中で押し問答して、ちょっと前に覚えたものが押し出されてしまう。

そここのころのせめぎ合いが、前期高齢者の生き甲斐なのかな。

2. 新聞記事からの生き甲斐

そういえば新聞記事での生き甲斐もある。『切り抜き』です。

当初（20年ほど前頃かな）はスポーツや社会面での面白い記事をスクラップ帳に貼り付けて楽しんでいたのですが、最近は年甲斐もなく「コロナ」や「戦争」に興味を持ち切り抜いています。がしかし、「コロナ」なんかは数ヶ月で解決すると思っていたら、何と3年以上でも終わらず、当然ファイルも増え、変な話2類から5類になったら記事も少なくなり、複雑な心境で5類歓迎(?)となりました。

そういう意味では「戦争」もそうです。まだ続いていてファイルがどうのこうの問題ではなく、完全に終息して欲しいです。こんな記事は切り抜いて置きたくないです。ましては、「生き甲斐」にもしたくないですが、毎朝新聞を読み、切り抜き、スクラップして置く事が頭の活性化につながっていると思っています。



「配分金」の支払と「インボイス制度」について

令和5年10月1日から、インボイス制度（適格請求書等保存方式）が導入され、消費税の取り扱いが変わります。

会員の皆さんにお支払いしている配分金は、所得税法上では雑所得として扱われ、その配分金には、内税として消費税が含まれています。

消費税は納税の義務がありますが、ほとんどの会員の皆さんは、1千万円以下の個人事業所であり、免税事業所となるため、配分金に含まれる消費税については納税の義務は生じません。

また、センターについても、免税業者との取引でも仕入控除が認められているため、通常の見直しにおい

て預かった消費税は納税していますが、配分金に係る消費税は納税する必要はありませんでした。

しかしながら、「インボイス制度」が導入されると、免税事業者との取引においては、仕入控除が段階的に認められなくなるため、配分金に含まれる消費税相当分を、今後に向けて誰がどのように負担すべきかという課題があり、センターの運営に多大な影響を及ぼすかもしれません。

現在、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会が中心となり、特例措置を国及び関係機関に求めるとともに、専門家で構成する委員会において、引き続き今後の対応について検討している状況です。

役員が代わりました!



新役員の方々です!

ワクチン接種後も引き続き感染対策を!!

コロナウイルス変異株の患者が発生しています。高齢者や基礎疾患のある方が感染すれば重症化リスクも高まります。感染リスクの高い行動は控え、「3密」・「回避」・「換気」など基本対策を徹底しましょう。

正しく使おう



マスク

こまめにしよう



手洗い・手指消毒

目指そう



ゼロ密

151号

編

集

後

記

外を散歩していると、ふと発見したり、庭にいつの間にか生えていて、私たちの生活に身近な雑草ですが、「雑草」は花壇や庭などに人間が栽培したものではなく、自然に生えている草花全体を指すのだそうだ。

「この雑草は何という名前だろう。」と疑問に思うことがあるのではないのでしょうか。「タンポポ」は黄色の花が可愛らしく、花の時期が終わるとふわふわとした綿毛を飛ばします。「スベリヒユ」は畑や道端などによく見かけますが、食べられる草花としても有名で、おひたしや天ぷらなどにできます。これらは群生していると大変美しいのですが、一度、畑や花畑などで見つけると除外したくなってしまいます。「雑草」さん、人間の都合で、ほめたり、けなしたりしてごめんなさい。

佐藤 誠・名須川智恵子・小川 市雄・成田優喜子・佐藤久美子